

受原岩倉大権現の巨石

- ① 岩倉（神が宿る大きな岩がある）に鎮座の権現さんで、受原村の三の宮として守り続けられている。石鳥居は宝暦7年（1757年）に建立される。
- ② 岩倉は「磐座^{いわくら}」と同じで、神が宿る大きな石、山中の大岩や崖のことで、「権現」とは、人々を救うために、阿弥陀・菩薩（仏）が仮（権）に神に姿を変えて「現」れる日本の神の神号の一つである。巨岩の根元に祀られた「岩倉権現」、神が宿るもしくは降臨する巨岩を盤座（いわくら）と言う。この神社の名前も、盤座からの名前ではないかと思われる。石をたたいてできた粉を、「ひすね」に付ければ冷っていたという話がある。どの石かは不明。

